



インドネシア森林セクターの パラダイム転換

コミュニティベースの持続的森林管理の促進



6月28日(木)
9:30 ~ 17:00

早稲田大学 国際会議場
井深大記念ホール

日本語インドネシア語 同時通訳

インドネシア政府は、「木材ベースの森林管理」から「コミュニティベースの森林管理」に基づく生態系資源ベースの森林管理へと森林管理パラダイムを転換する政策を決定しました。この政策は、国連持続的開発目標 (SDGs) の達成に向けた、持続的、調和的かつ公平な森林利用の実現を目的としています。

インドネシア・日本両国の環境や森林に関する行政機関、企業、NGO、教育 / 研究機関、市民の皆さんが集まって、これまでのコミュニティベースの森林管理への取り組みやその教訓を共有し、森林とひとの持続的な開発に向けたインドネシア・日本両国の役割やコラボレーションの可能性について、考え理解を深めます。

申込フォーム

申込フォームにアクセスできない場合は、
下記問い合わせ先へご連絡ください。

<https://goo.gl/21iGJL>



プログラム・詳細

裏面、もしくは、インドネシア共和国大使館ウェブサイトをご覧ください。

<https://kbritokyo.jp/forest2018/>



お問い合わせ インドネシア共和国大使館 森林担当書記官 Dr. Riva Rovani forestryseminar2018@gmail.com



インドネシア森林セクターのパラダイム転換：コミュニティベースの持続的森林管理の促進

09:30 -09:50 開会

早稲田大学
インドネシア共和国大使館
外務省（予定）

09:50 -10:20 基調講演：森林セクターの二国間協力のレビュー

インドネシア環境林業省
林野庁

10:20 -12:00 セッション I：持続的森林管理に関するインドネシア政策の変化
モデレーター：筑波大学 名誉教授 増田美砂氏

森林開発のロードマップ：インドネシア木材合法性確保制度を含む SDGs 達成に向けて

インドネシア環境林業省

ゴムノキをベースとしたコミュニティ / 社会林業の経験からの政策改革のインプリケーション

早稲田大学・公益財団法人国際緑化推進センター

インドネシアのバルブ・製紙業の変化

エイピーピー・ジャパン株式会社

インドネシアの持続的森林管理に関する国家政策の分析

公益財団法人地球環境戦略研究機関

12:00 -13:00 昼休み（インドネシア料理の試食ができます）

13:00 -13:45 セッション II：将来の持続的森林管理に向けて：森林管理ユニット（FMU）
モデレーター：九州工業大学 准教授 大田真彦氏

森林管理ユニット：インドネシアの現場レベルの新しいガバナンスとビジネス法人としての持続的森林管理制度

インドネシア環境林業省

インドネシアの森林・湿地の回復におけるインドネシアの森林管理ユニットと日本企業のコラボのポテンシャル

一般社団法人日本森林技術協会

森林管理ユニットを通じたコミュニティの生計向上と生態系保全

ブランタラ財団

13:45 -14:45 セッション III：コミュニティベースの森林管理
モデレーター：九州大学 准教授 藤原敬大氏

インドネシアの社会林業：コミュニティが森林を管理する法的アクセス

インドネシア環境林業省

木材加工を通じたコミュニティ / 社会林業

住友林業株式会社

テンカワンとコミュニティ

テンカワンネットワーク日本支部 / 合同会社 TEMBAWANG

ハチミツ・ヤシ砂糖を通じたコミュニティ / 社会林業

公益社団法人環境教育フォーラム

14:45 -15:00 休憩（コーヒーブレイク）

15:00 -16:00 セッション IV：生態系ベース管理
モデレーター：名古屋大学 教授 原田一宏氏

インドネシアのエコツーリズムと環境サービスの発展

インドネシア環境林業省

生態系回復コンセプション：森林再生、保全・保存を通じたマルチビジネス、マルチ製品のポテンシャル

インドネシアの生態系回復コンセプション企業

マングローブ林生態系に関する環境サービス開発

ワイエルフォレスト株式会社

東カリマンタンにおける森林再生プロジェクト

一般社団法人 モア・ツリーズ

16:00 -16:50 総合パネルディスカッション
モデレーター：名古屋大学 教授 原田一宏氏

16:50 -17:00 総括と閉会